

- (ア) 叙勲（該当者なし）
  - (イ) 厚生労働大臣表彰（社会福祉功労者 3 名、特別表彰 2 名）
  - (ウ) 全国社会福祉協議会会長表彰（民生委員功労 4 名、民生委員永年勤続 4 名）
  - (エ) 県知事表彰（民生委員・児童委員功労 30 名）
  - (オ) 第 5 2 回沖縄県社会福祉大会長表彰（民生委員児童委員永年勤続功労者 26 名）
  - (カ) 全国民生委員児童委員連合会会長表彰（永年勤続単位民生委員児童委員協議会会長表彰 1 人、永年勤続民生委員児童委員表彰 9 人）
  - (キ) 九州社会福祉協議会連合会会長表彰 25 人
- (3) 「沖縄県第 2 次民生委員・児童委員発 災害時一人も見逃さない運動」の普及
- ① 県等の関係機関・団体との連携・協働
    - ア. 県知事公室防災危機管理課との意見交換会の開催
      - 期 日 平成 21 年 12 月 21 日
      - 場 所 県庁
      - 参加者 県防災危機管理課（課長、副参事、担当職員）県民児協（会長）、事務局（久根次）
- (4) 「沖縄県第 3 次児童委員活動強化推進運動」の普及
- ① 県等の関係機関・団体との連携・協働
    - ア. 沖縄県青少年育成県民会議への委員派遣
    - イ. 沖縄県地域家庭教育推進協議会への委員派遣
    - ウ. 沖縄県青少年ネットワークへの委員派遣
    - エ. 地域子ども教室推進事業運営委員会への委員派遣
    - オ. 御万人すりていクリーン・グリーン・グレイシャス運動への委員派遣

## II 県民参加による福祉社会の形成

### 1 ボランティア活動の充実強化

- (1) 県ボランティア・市民活動支援センターの拠点整備及び機能強化
- ① 会議スペースの貸し出し
    - 貸出し状況（37 件）
  - ② 資材の整備及び貸与
    - ア. 高齢者疑似体験セット貸出し状況（11 件）
    - イ. ボランティア・市民活動関連ビデオ貸出し状況（59 件）
    - ウ. 印刷機利用状況（126 件）
    - エ. スクリーン（1 件）
    - オ. プロジェクター（2 件）
  - ③ ボランティア・NPO に関する情報の提供及び相談対応
    - ア. 電話、来所、メールによるボランティア活動に関する問合せへの対応
    - イ. 県外からの依頼によるボランティア募集やコーディネート
    - ウ. 企業等の社会貢献担当者からのボランティア活動に関する相談

④ ボランティア・市民活動支援センター運営委員会の開催

<第1回>

期 日 平成21年12月24日

場 所 沖縄県ボランティア・市民活動支援センター

参加人数 8名

委嘱状交付・運営委員長の選出

議 題 沖縄県ボランティア・市民活動支援センター事業概要

平成21年度事業の実施状況

子どもたちのボランティア活動、福祉教育の推進について

沖縄県災害救援ボランティアセンターマニュアルの策定について

<第2回>

期 日 平成22年1月14日

場 所 沖縄県ボランティア・市民活動支援センター

参加人数 8名

議 題 沖縄県災害救援ボランティアセンターマニュアルについて

レクチャー 『災害救援、被災者支援と県社協』講師：桑原英文氏（JPCOM 代表）

<第3回>

期 日 平成22年2月25日

場 所 沖縄県ボランティア・市民活動支援センター

参加人数 7名

議 題 平成21年度事業実績と評価について

平成22年度事業計画について

沖縄県災害ボランティアセンターマニュアル策定の経過報告等

⑤ ボランティア保険の加入受付

取扱件数 ボランティア活動保険（46件、976人）

ボランティア行事用保険（71件、16,885人）

※事故対応0件

⑥ 県内災害時におけるボランティアセンター本部の設置・運営

災害ボランティアセンター設置はなかったが、以下の災害について対応した。

<台風8号>

期 日 平成21年8月5日

対 応 台風接近にともない事前に要援護者などを含めた注意喚起と被災の場合は迅速に被害状況を報告するようにFAX送信。

<台風18号>

期 日 平成21年10月9日

対 応 台風接近にともない事前に要援護者などを含めた注意喚起と被災の場合は迅速に被害状況を報告するようにFAX送信。

<沖縄本島での地震>

期 日 平成22年2月27日

対 応 震度が大きかった社協へ電話連絡。県内市町村社協に「地震に関する被災状況把握」のFAX送信。(FAX内容:要支援者への被災状況確認と被災状況や対応等について及び土日の緊急連絡問い合わせを明示) 全社協へメールにて報告。

<南米チリ大地震に伴う津波>

期 日 平成22年2月28日

対 応 午前中までに県内市町村社協へ電話連絡し津波警報に伴う要援護者支援への支援に関してFAX及び電話にて注意喚起を促し事務所待機。

⑦ 県外災害ボランティアセンターとの連携と情報の提供

<九州・山口の長雨対応>

期 日 平成21年7月

対 応 九州ブロックでは派遣応援の要請がないことを確認。7月30日全社協より山口への被災地災害ボランティアセンター支援要請のメールがあったが、他県から派遣調整となったため沖縄からの派遣はなかった。

(2) 市町村ボランティアセンターへの支援

① 市町村社協ボランティア担当者研究協議会等の開催

期 日 平成21年7月13日

場 所 県総合福祉センター403会議室

講 師 妻鹿ふみ子氏 ((特活) 日本ボランティアコーディネーター協会代表理事、京都光華女子大学教授)

参加者 24名 (市町村社協福祉活動専門員、ボランティア担当職員)

内 容 『相談・面接技法のスキルアップ 記録用紙の有効活用』をテーマに、ボランティア相談への姿勢や具体的流れを学んだ。

② 地区社連ボランティア担当者会議への支援

地 区	月 日	場 所	内 容
中社連	4月17日	宜野湾市社協	ボランティア関係保険について
	5月20日	うるま市社協	ボランティア活動推進校への支援について

③ 市町村社協各種講座等への支援

各社協が実施するボランティア研修会等での講話や、市町村社協が主催する研修や講座の企画への支援を行った。

月 日	社協名	研修名	担当
8月19日	南城市社協	南城市福祉体験指導者研修会 『ボランティア体験学習・福祉教育の進め方』	西

④ 市町村社協ボランティアセンター関係調査の実施

ア. 「市町村社協における災害時要援護者対応マニュアル等の作成状況把握調査」の実施

実 施 平成21年9月28日

内 容 県福祉援護課からの要請により県内各市町村社協へFAXし①災害時要援護者対応マニュアルの作成状況②災害時要援護者名簿の作成状況についてアンケート集計を行った。

イ.「沖縄本島地震及びチリ大地震に伴う津波対応へ把握アンケート」の実施

実 施 平成22年2月27日・28日

内 容 要援護者支援への対応（行政との連携も含む）、被災状況について

ウ.「ボランティア活動者調査（広域）の実施」に伴うボランティア数調査把握の実施

実 施 3月

内 容 全社協より依頼のあったボランティア活動者調査（広域）に関連して、市町村協へ登録ボランティア数・団体数、団体名のリストの調査を行った。

⑤ 市町村社協ボランティアセンターの運営に関する相談

市町村ボランティアセンターから寄せられる、センター運営上の相談に対し、全国的な動向や必要な情報の提供、他機関・団体へのコーディネートを実施。市町村ボランティアセンターの機能充実に努めた。

⑥ 県内災害時における市町村災害ボランティアセンターへの支援

ア. 災害VC研修『つくる防災・笑うまち』の開催

期 日 平成21年10月23日

場 所 豊見城市社会福祉センター

講 師 坂口和隆氏（日本NPOセンター事務局次長、全社協全国ボランティア活動振興センター運営委員、西東京市市民協働推進センター運営委員）

実践報告者 仲宗根美奈氏（那覇市社協）、宮城美由氏（宜野湾市社協）

参加者 32名（市町村社協、民生・児童委員、自治会関係者、行政、NPO）

内 容 協働や新たなニーズを把握しサービスを創造する機能をもつボラセンと、「住民相互が支え合うコミュニティづくり」が、どのように『住民主体の防災まちづくり』や『平常時のコミュニティ強化』に取り組んでいけるかをテーマに開催した。また、県内の実践報告も行い、情報収集と共有の場となった。

イ.『災害ボランティアセンターマニュアル研修会』の開催

期 日 平成22年3月15日

場 所 県総合福祉センター403研修室

講 師 桑原英文氏（JPCoM代表）

参加者 36名（市町村社協、行政、大学職員、県VC運営委員会）

内 容 「県社協災害救援本部マニュアル」の内容説明と、災害時における県社協と市町村社協の（VCの動きを含む）共通理解と連携を深める。県社協救援本部の立ち上げから解散・平常時の取り組みと、災害ボランティアセンターの動きについてグループ討議を行った。

ウ. 那覇市災害救援ボランティア推進会議へ委員として参加

<那覇市災害救援ボランティア推進会議>

期 日 第1回 平成21年7月13日 第2回 平成21年12月17日

第3回 平成22年3月17日

場 所 那覇市総合福祉センター

主 催 那覇市、那覇市社協

参加者 渡邊真寿美

内 容 那覇市社協からの委嘱を受け委員として会議に参加。自治会等の小規模災害マニュアルの作成検討や小規模非難訓練の実施（首里大名地区）についての協議。

<首里大名町地域小規模避難訓練>

期 日 平成22年1月30日

場 所 大名小学校

主 催 那覇市、那覇市社協

参加者 渡邊真寿美（係員として参加）

(3) ボランティア受入機関（病院・福祉施設等）・ボランティア団体・NPO への支援と協働

① ボランティア・市民活動団体の運営に関する相談・支援

NPO等から寄せられる活動や組織運営に関する相談に対し、必要な情報の提供、他機関・団体へのコーディネートを行った。

② ボランティア受入体制づくりに関する相談・支援

ボランティア受入機関（病院・福祉施設・NPO等）から寄せられる相談に対し、必要な情報を提供した。

③ ボランティアコーディネーター養成研修の開催

ア.「第1回 ボランティア 受け入ればっちり！講座」

期 日 平成21年6月19日

場 所 県総合福祉センター403研修室

講 師 齋藤悦子氏（日本病院ボランティア協会副理事長／特別養護老人ホームはっさむ・はる施設長）

参加者 49名（福祉施設・病院・社会教育施設職員、学校教職員、市町村社協、NPO）

内 容 ボランティアがいきいきと活動していくために必要な”心・物・支援”という3側面からの準備、募集計画作成と広報活動、オリエンテーション・教育プログラムの取り組み方など、ボランティア受け入れのプロセス・プランニング・技法について学んだ。

イ.「第2回 ボランティアのフォローアップ・継続支援でがっちり！講座」

期 日 平成21年7月14日

場 所 県総合福祉センター403研修室

講 師 妻鹿ふみ子氏（(特活)日本ボランティアコーディネーター協会代表理事、京都光華女子大学教授）

参加者 47名（福祉施設・病院・社会教育施設職員、教育委員会、市町村社協、NPO）

内 容 コミュニケーションをスムーズにし、ボランティアの力が発揮されるためのツールとしての記録用紙の作成と活用方法を中心に、ボランティアがやめないための継続支援のポイントと技法を学びんだ。

④ NPO活動支援セミナーの開催

ア. 「NPOのお金の集め方」

期 日 平成21年10月26日

場 所 県総合福祉センター403研修室

講 師 田尻佳史氏 ((特活) 日本NPOセンター理事・事務局長)

シンポジスト 小阪亘氏 (那覇市NPO活動支援センター)、大木陽一郎氏 (沖縄県共同募金会)、金城裕信氏 (琉球銀行)、東江建氏 (コープおきなわ)、宮家吉弘氏 (沖縄県生命保険協会)

参加者 65名 (NPO、ボランティア団体、市町村社協、企業、行政)

内 容 助成団体とNPOの相互理解を目的に、助成する側の理念や内容、NPOによる活用の効果と課題についてシンポジウムを行った。

⑤ 助成事業の案内、取りまとめ、助成金説明会の開催

ア. 助成実績

(ア) 情報提供 53件

ホームページ 随時

メール・FAXで個別提供 12回、151ヶ所(市町村社協、NPO、中間支援機関)

(イ) 推薦 5団体を推薦、4団体が決定済み

(特活) イーパーツ『第52回リユースPC寄贈プログラム』

【推薦】【決定】NPO ヨナグニウマふれあい広場

住友生命『未来を築く子育てプロジェクト：子育て支援活動の表彰』

【推薦】【決定】(特活) うてい〜らみや

日本生命財団『児童・少年の健全育成助成』

【推薦】【決定】沖縄自閉症児者親の会まいわーど

(財) キリン福祉財団『平成22年度公募助成』

【推薦】【決定】中部地区発達障がい児をささえる会「そら」

『おきぎんふるさと振興基金』

【推薦】【審査中】(特活) 沖縄バリアフリー研究会

⑥ 団体情報PR支援事業の実施

県内ボランティア団体、NPOの情報公開を支援し、県ボラセン内に、団体の基本情報を公開する専用ボックスを設置。登録団体 97団体

⑦ 他機関・団体のボランティア関連講座等への支援

月 日	研修会名	場 所	指導内容・議題	参加者
6月4日	那覇市学校ボランティア学習推進協議会	那覇市総合福祉センター	子どもたちのボランティア活動の進め方について	西
7月22日	養護教諭10年経験者研修	県立総合教育センター	社会貢献活動の意義について	西
8月7日	職業生活設計セミナー	産業支援センター	ボランティア活動について	西
8月26日	健康づくり推進員養成講座	那覇市保健センター	〃	西
9月16日	かりゆし長寿大学ボ	県総合福祉セ	〃	渡邊

月 日	研修会名	場 所	指導内容・議題	参加者
	ランティア講座	ンター		
9月18日	かりゆし長寿大学ボランティア講座	県総合福祉センター	〃	渡邊
10月19日	学習支援ボランティア養成講座	読谷村文化センター	〃	西

⑧ 県内市民活動支援機関との連携

ア. おきなわ市民活動支援会議を毎月1回実施。

構成団体 県ボランティア・市民活動支援センター、那覇市NPO活動支援センター、  
沖縄県NPOプラザ、(特活) 沖縄NGOセンター、気候アクションセンターおきなわ、JICAおきなわ、ホールアース研究所(計7団体)

実施日 毎月第2火曜日

場 所 沖縄県ボランティア・市民活動支援センター

内 容 県内の市民活動を支援する様々な機関と連携することを目的に毎月1回実施(計12回)。情報交換、年間計画の共有について等

⑨ ボランティア・市民活動の促進のための広報・啓発活動への支援

ア. 共催 …講習会の企画運営、広報への協力

開催日	団体名	研修・講座、イベント名
12月10日	NPO法人会計基準協議会、那覇市NPO活動支援センター	NPO法人会計基準策定プロジェクト全国キャラバン in 沖縄～寄付者・支援者に支援に信頼されるNPO会計にするために～

イ. 後援 …広報協力

開催日	団体名	研修・講座、イベント名
6月18日	(特活) 日本病院ボランティア協会	沖縄地区：ボランティア研修会
4月1日～ 2月28日	(特活) おきなわCAPセンター	子どもを支援したい大人集まれ！ ～中頭地区の安全な子育て環境づくり活動
6月20日	(特活) 福祉ネットワーク	第14回参加型福祉レクリエーションフェスティバル
8月1日	(特活) 沖縄NGOセンター	グローバルセミナー『沖縄と世界、今日と未来をつなぐとき』
8月9日	同実行委員会、九州地区県同教連絡協議会	第3回九州・沖縄地区子ども支援ネットワーク交流学習会
10月19日	(特活) 沖縄県難聴福祉を考える会	今日からできる耳ぐすい講話『長寿を楽しむための耳の健康 ー百歳を越しても補聴器を不要としよう！ー
11月12 ～14日	(特活) 沖縄児童文化福祉協会	遊びとおもちゃの文化講座
11月14日	(財) こども未来財団、(特活) 子育てひろば全国連絡協議会	地域子育て支援拠点研修事業(沖縄開催)
2月27日～ 3月27日	(特活) 沖縄ソーシャルワーカー協会	ソーシャルワーカー(初級)養成講座
3月6日	(特活) 沖縄県難聴福祉を考える会	うるま市 健康(みみぐすい講話)講演会

開催日	団体名	研修・講座、イベント名
3月21日	(特活) 沖縄県難聴福祉を考える会	「耳の日」聴覚・補聴講演会
4月3日	(特活) 沖縄児童文化福祉協会	ハッピーキッズおきなわ2010
5月22 ～23日	大人のADHDの会 in 沖縄、絵本と童具の 子育て広場がじゅまる	白井由佳講演会・実践講座 「大人になった私達からのメッセージ」 「沖縄の気質・風土の中で生かす発達障害」 「ゴミ屋敷にしないためのお片付け講座」

(4) 大学等との連携による学生へのボランティア活動の推進

① 大学生等のボランティア活動に関する相談・支援

電話、来所、メールによるボランティア活動に関する問合せへの相談対応

② 県内大学ボランティアセンターとの連携・情報交換

③ 県内大学ボランティアセンターに関する相談・支援

(5) 福祉教育の推進・学校教育との連携

① 学童・生徒のボランティア活動普及事業の実施

ア. ボランティア活動推進校の指定・育成

平成21年度ボランティア活動推進校指定状況：総数31校（新規9校含む）

指定期間別内訳＝1年目9校、2年目7校、3年目15校

学校種別内訳＝小11校、小中2校、中11校、高5校、特別支援学校2校

コース内訳＝5万円11校、10万円16校、20万円4校

<個別支援>

月日	学校名	内容
6月10日	西小学校	・新規指定校指定証交付式 ・児童向け講座『やってみよう！ボランティア活動』（低学年向け、高学年向け） ・教職員研修 （伊江村社協ボランティア担当も参加）
6月12日	名護特別支援学校	・学校訪問 ・校内職員研修会『子どもたちのボランティア活動の進め方』
6月29日	多良間小学校	・学校訪問 ・生徒向け講話『やってみよう！ボランティア活動』（多良間村社協の担当も同行）
6月29日	多良間中学校	・学校訪問・生徒向け講話『Let's ボランティアのすすめ』（多良間村社協の担当も同行）
7月6日	伊原間中学校	・学校訪問（石垣市社協のボランティア担当も同行）
7月7日	大原小学校	・学校訪問（竹富町社協担当も同行）
7月7日	船浦中学校	・学校訪問 ・生徒向け講座『Let's ボランティアのすすめ』（竹富町社協担当も同行）
2月1日	興南高校	ボランティア活動報告会（指定3年目）
2月19日	名護特別支援学校	ボランティア活動報告会（指定3年目）

イ. ボランティア活動推進校連絡会の開催

担当教諭と社協職員、ボランティア団体やNPOが意見や情報交換を行い、今後の連携につなげていく連絡会を開催

月日	地区（場所）	内 容	参加
6月12日	北部地区 （大宮小学校）	・福祉体験学習の授業参観（大宮小） ・連絡会 意見・情報交換	18名（5校、5社協、福祉教育サポーター4名）
6月22日	南部地区 （南風原町社会福祉センター）	・新規指定校指定証交付式 ・連絡会 名護特別支援学校の事例発表、意見・情報交換	13名（7校、3社協）
6月25日	中部地区 （沖縄市福祉文化プラザ）	・新規指定校指定証交付式 ・連絡会 美東中学校の事例発表、意見・情報交換	20名（9校、7社協、1教育委員会）
6月29日	多良間地区 （多良間中学校）	・連絡会 小中学校合同教職員研修、意見・情報交換	24名（2校、1社協）
6月30日	宮古島地区 （宮古島市社会福祉センター）	・連絡会 下地中学校の事例発表、意見・情報交換 ※宮古島市ボランティア指定校等連絡会と合同開催	20名（11校、1社協）
7月6日	八重山地区 （石垣市健康福祉センター）	・新規指定校指定証交付式 ・連絡会 大原小、鳩間小中、石垣市社協の事例発表、意見・情報交換	12名（6校、2社協）

② 福祉教育・ボランティア活動の推進

ア. 市町村社協ボランティア活動研修会への参加・支援

月日	社協名	研修名	担当
6月30日	宮古島市社協	第1回宮古島市ボランティア指定校等連絡会	西
3月3日	宮古島市社協	第2回 〃	西

イ. 子どものボランティア活動を進める体験学習の情報収集と提供

『子どもたちのボランティア活動をすすめるガイド』の配付等による情報提供

ウ. 「子どもたちのボランティア活動・体験学習のススメ～学校と地域の連携で豊かな活動を育む実践報告会」の開催

期 日：Aコース（中・高校編）平成22年2月17日、

Bコース（小・特別支援学校編）平成22年2月18日

場 所：県総合福祉センター403研修室

講 師：長沼豊氏（学習院大学教授）

実践報告者：

Aコース…平良多代子氏（美東中学校教諭）、平川節子氏（NPO 法人マングローブEEクラブ代表）、島尻麗美氏（嘉手納高校教諭）、奥間仁氏（嘉手納社協）、宮良長孝氏（石垣市社協）

Bコース…名嘉信祐氏（名護特別支援学校教諭）、仲間勝弘氏（介護事業所「さくらの郷」施設長）、宮城律子氏（大宮小学校教諭）、比嘉晴美氏

(名護市社協)

参加者：Aコース 34名、Bコース 27名

(県内小中高特別支援学校、教育委員会、市町村社協、NPO、地域団体)

内容：ボランティア活動やボランティア学習の意義や進め方を学ぶとともに、学校が地域と連携した実践報告を通して、実際の取り組み方や成果を学んだ。

(6) 企業の社会貢献活動及び勤労者のボランティア活動の促進

① 企業の社会貢献活動に関する相談

ア. 企業の社会貢献活動に関する相談への情報提供支援

イ. 企業の社会貢献活動のコーディネート

(ア) 明治製菓株式会社からの「お菓子の寄贈」

(特活) 日本NPOセンターの『企業とNPOの連携プログラム』の一環で、各都道府県2ヶ所ずつ、障がいのある子どもたちを対象した活動を実施するNPOへ寄贈する。本センターより、沖縄県内の2団体のコーディネートを行った。

【寄贈先】(特活) ジャンプ、親子サークルし〜あ〜ぷ〜

② 勤労者のボランティア・市民活動に関する相談

電話、来所、メールによる社会貢献活動・ボランティアに関する問合せへの相談対応

③ ホームページによる情報の提供

ホームページ「ボランチュねっと」「ボランチュなび」を運営。ボランティアに関する研修会情報や助成金情報などの提供を行うほか、登録団体からのボランティア募集情報の書き込みが行われた。

④ メールニュース「ボランチュマガジン」の配信

毎月2回(第2・第4水曜日)、県内のボランティア募集情報、市民活動関連イベント情報を配信。

配信回数 24回

配信数 608件(1回の配信数)

(7) 他機関の研修等への参加・派遣

<県外>

① 都道府県・指定都市社協ボランティア・市民活動センター所長会議

期日 平成21年4月16～17日

場所 全国社会福祉協議会(東京都)

主催 全国社会福祉協議会

参加者 西智子

② 災害支援者フォーラム『次なる災害発生時の効果的連携に向けて』

期日 平成21年6月5日

場所 全国社会福祉協議会(東京都)

主催 全国社会福祉協議会

参加者 渡邊真寿美

内容 災害時において、NPO、社協、共募、企業などの災害救援に取り組む関係者がどのように連携することが必要なのかについて情報交換や協議を行った。

- ③ 第18回全国ボランティアフェスティバルえひめ  
 期 日 平成21年9月26～27日  
 場 所 愛媛県民文化会館、愛媛大学（愛媛県）  
 参加者 西智子、渡邊真寿美  
 内 容 全国のボランティア・市民活動を推進する多彩な活動者や団体、諸機関が交流し、最新の社会状況とボランティア活動のニーズや課題、今後の動向を学んだ。
- ④ 社協ボランティア・市民活動センター 担当職員研究セミナー  
 期 日 平成21年10月29～30日  
 場 所 全国社会福祉協議会（東京都）  
 主 催 全国社会福祉協議会  
 参加者 渡邊真寿美  
 内 容 各地の先駆的な取り組みの実践レポートを通して、VCが多様な活動に対する団体支援や個別支援の実践ができているかを分科会にて検討し、VC組織の活性化について学んだ。
- ⑤ 全国校区・小地域福祉活動サミット in 大津  
 期 日 平成21年11月18日  
 場 所 大津プリンスホテル（滋賀県）  
 参加者 西智子  
 内 容 全国で小地域福祉活動に取り組む担い手や支援者が交流し、小地域福祉活動の実践や、多様な地域課題への具体的な取り組みなどを学んだ。
- ⑥ 地域の福祉力セミナー  
 期 日 平成21年11月19日  
 場 所 大津プリンスホテル（滋賀県）  
 主 催 全国社会福祉協議会  
 参加者 西智子  
 内 容 住民が自ら“地域の福祉力”を養い、地域福祉の実現に取り組むプロセスをいかに社協が支援するか、その視点や手法について研究・協議した。
- ⑦ 全社協災害ボランティアセンター運営者支援研修  
 期 日 平成21年12月2～4日  
 場 所 全国社会福祉協議会（東京都）  
 主 催 全国社会福祉協議会 災害ボランティア活動支援プロジェクト会議  
 参加者 伊良皆和弘  
 内 容 災害ボランティアセンターの設置・運営支援や協働体制づくり、連絡調整、プログラム開発や、復興プロセスまでのアドバイスなどができる中核的スタッフ（運営支援者）を養成し、広域的・全国的な相互支援（派遣）体制を担うことのできる質の高い人材のネットワークをつくる研修
- ⑧ 全国ボランティア・コーディネーター研究集会2009  
 期 日 平成22年3月6～7日  
 場 所 福岡市市民福祉プラザ（福岡県）

主 催 同実行委員会、(特活)日本ボランティア・コーディネーター協会  
参加者 西智子、渡邊真寿美  
内 容 ボランティア・コーディネーションに関わる人々が、分野を問わず集まり、スキルを高め、全国のコーディネーターのつながりを深めた。

⑨ 社会福祉協議会ブロック・被災地災害ボランティアセンター支援検討会議

期 日 平成22年3月10日  
場 所 尚友会館(東京都)  
主 催 全国社会福祉協議会  
参加者 伊良皆和弘、西智子  
内 容 被災地ボランティアセンター支援の全体像の理解と、「災害時ブロック相互支援協定」による職員派遣や「災害ボランティア活動支援プロジェクト」による全国段階での運営支援者の派遣など、社協ネットワークによる被災地支援の有効性と課題について討議・確認した。

(8) その他の事業等

① 福岡ふれあいとチャレンジの翼・歓迎セレモニーの開催

期 日 平成21年6月24日  
場 所 那覇空港到着ロビー  
参加者 比嘉佑一郎(県社協常務理事)、渡邊真寿美  
内 容 福岡県の障害者とその家族及び関係者の沖縄観光への受入れにあたり、ボランティアコーディネートをおこなう。また、福岡県社協との受入れ調整やボランティアに対する事前説明会を実施した。

② 「沖縄県労働金庫NPO助成金選考委員会」への参画

期 日 平成21年8月5日  
場 所 沖縄県労働金庫本店 2階会議室  
選考委員 嘉陽孝治  
内 容 NPO法人への助成金審査

③ 「コープおきなわボランティア団体援助金審査会」への参画

期 日 平成22年2月26日  
場 所 コープおきなわ浦添センター 第1会議室  
選考委員 嘉陽孝治  
内 容 ボランティア団体への援助金審査

## 2 福祉文化の形成

県内における福祉文化の形成を図ることを目指し、地域の福祉力に着目し、住民同士の支え合い活動の推進を目的に、福祉関係者はもとより広く一般県民へ県内各地での支えあい実践事例の広報啓発・普及を図るため、セミナーの開催や実践事例報告等を収録した報告書を作成した。

(1) 「地域の福祉力を高めるセミナー」の開催

主体性を活かす子育て支援～こどもと親となかまと地域～

期 日 平成22年2月24日

場 所 浦添市てだこホール

内 容 オープニングコンサート：沖縄のわらべうた（出演：NPO法人うていーらみや）

講 話 「親のチカラをひきだす子育て支援」

講 師 田仲由紀子氏（沖縄子育て情報ういず代表）

実践報告 「主体性を活かす子育て支援」

報告者 張本 文昭氏（community space てい〜だの家主宰）

仲村 磨美氏（親子サークルし〜あ〜ぷ〜代表）

池上 桂氏（育自支援グループたいようのえくぼ代表）

参加者 252名

(2) 「地域の福祉力を高めるセミナー」報告書の発行

発行部数 300部

仕 様 A4版、1色刷り

内 容 講話及び実践報告記録、参加者アンケート等

### 3 福祉に関する啓発

社会福祉を取り巻く環境が激変する状況下にあつて、本会の会員をはじめ、社会福祉関係機関・団体等への社会福祉情報の迅速な提供や広く一般県民への啓発を図るために、社会福祉大会の開催や福祉週間行事等を実施した。

(1) 第52回沖縄県社会福祉大会の開催

① 「第52回沖縄県社会福祉大会」

スローガン 「みんなで創ろう、安心して暮らせる福祉社会」

期 日 平成21年10月29日

会 場 沖縄コンベンションセンター・劇場棟

主 催 沖縄県、沖縄県社会福祉協議会、沖縄県共同募金会

参加人員 1,300人

内 容：

〈感謝・表彰〉

県知事表彰・感謝（35人、4団体、2夫妻）

大会長表彰特別功労（25人、43団体、6夫妻）

大会長表彰特別永年勤続功労（66人）

大会長表彰永年勤続功労（129人）

大会長感謝（5人、6団体）

厚生労働大臣表彰（伝達）（1人、2団体）

九州社連会長表彰（伝達）（25人）

〈記念講演〉

演題 「沖縄の自立と福祉を考える」

講師 稲嶺惠一氏（前沖縄県知事）

〈大会宣言採択〉

② 第52回沖縄県社会福祉大会の主催者打合せ会議

期 日 平成21年6月8日

場 所 県社協常務理事室

出席者 県福祉援護課長、県共募常務理事、県社協常務理事、局長、次長、事務局

協議事項 大会開催要綱・表彰規程、大会役員・準備委員会委員、役割分担

大会準備スケジュール、記念講演について

③ 第52回沖縄県社会福祉大会の準備委員会の開催

ア. 第1回準備委員会

期 日 平成21年7月13日

場 所 沖縄県庁6階 第1会議室

参加者 12人

協議事項 準備委員会正副委員長選出、大会開催要綱、大会日程大会表彰規程、大会役員、表彰伝達、大会資料提供について

イ. 第2回準備委員会

期 日 平成21年9月10日

場 所 沖縄県庁3階 第5会議室

参加者 11人

協議事項：被表彰者の決定、大会宣言（案）、大会役員等の役割分担について

(2) 各種福祉週間（月間）行事への協力

① 児童福祉週間の実施

期 間 平成21年5月5～11日

標 語 「ありがとう つたわるころが うれしいよ」

ア. 児童福祉週間ポスターの受注及び配布、

イ. こいのぼり掲揚式の実施

期 日 平成21年4月23日

場 所 県総合福祉センター・ゆいプラザ

参加人員：センター入居団体関係者、近隣福祉施設関係者、民生委員児童委員、近隣保育園園児等 200人

ウ. 県社協ホームページでの広報・啓発

② 看護の日・看護週間への協力

期 間 平成21年5月10～16日

テーマ 「5月12日は看護の日 看護の心をみんなの心に」

ア. 看護の日記念講演会への協力

イ. 県社協ホームページでの広報・啓発

③ 老人の日・老人週間の実施

期 間 平成21年9月15～21日

標 語 「みんなで築こう 活力ある長寿社会」

ア. 各種キャンペーン行事の共催

イ. 老人の日・老人週間ポスターの受注及び配布

ウ. 県社協ホームページでの広報・啓発